

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
商法総則・商行為 (70期～)	楠井 嘉行	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	<p>商法総則・商行為に関する商法の規定と民法の規定との違いや企業取引実務を中心に学習する。商業登記簿や商業帳簿、企業取引に関する各種書式等を用いて平易に解説したい。企業取引実務に関するビデオ等を見て、知識をより深いものにする。</p> <p>商法に規定される商法総則・商行為の内容、民法との違いや各規定が具体的に適用される場面について学習しつつ、企業取引の具体的な実務を学習する。</p>						
到達目標	<p>① 商法総則・商行為に関する基本的知識を修得する。</p> <p>② 企業取引実務に関する知識を深める。</p> <p>③ 社会人となって有用と思われる企業取引実務を身につける。</p>						
回	学習内容						
1	商法とは、商法総則総論						
2	商業登記、商号、商業帳簿						
3	補助者、営業譲渡						
4	商行為総則・商事売買						
5	交互計算、匿名組合						
6	仲立営業、問屋営業						
7	運送営業、運送取扱営業						
8	倉庫営業・場屋営業						
9	保険法総論						
10	損害保険・生命保険						
11	手形・小切手						
12	約束手形						
13	小切手						
14	電子債権						
15	手形交換						
予習内容 復習内容	<p>予習：講義中に紹介する参考書に目を通す。</p> <p>復習：講義資料やノートを読み返す。</p>						
教科書	近藤光男（編）『現代商法入門 〔第11版〕』有斐閣アルマ						
成績評価	レポートによる評価の予定。単位を心配せず授業をよく聞いて学習されたい。 出席30%、レポート課題70%で評価したい。						
実務経験	昭和60年4月三重弁護士会 弁護士登録。 三重県信用組合金融整理管財人や金融機関の法律顧問等の経験を生かしてお話しします。						
その他 特記事項	企業取引で使われる書式のほか、実務に関連したビデオもできるだけ多く見て頂く予定である。						